学校番号	1015

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	明解現代文Ｂ改訂版　（三省堂）						
副教材等	「書いてマスター常用漢字」（文英堂） 「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・事前準備として予習プリントに必ず取り組み、重要語句の意味などを調べておくようにしましょう。
・集中して授業に臨み、自分の語彙を増やし、表現力を身につけましょう。
・漢字テストに積極的に取り組み、目標を立ててそれを達成する喜びを味わいましょう。
・学習プリントなどを利用して、内容が理解できているかを確かめながら復習しましょう。

２　学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章に触れ理解することで、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方考え方を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を自ら進んで高めようとしているか。	目的や場に応じて的確に話したり聞き取ったりできているか。	目的や課題に応じた、適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めているか。	近代以降の文章を的確に読み取って、自分の考えを深め発展させているか。	言葉の特徴やきまりなどについて理解を深め、知識を身につけているか。
評価方法	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・各種課題 ・定期考査	・授業観察 ・指名音読 ・発問評価	・各種課題 ・定期考査	・授業観察 ・発問評価 ・各種課題 ・定期考査	・発問評価 ・小テスト ・各種課題 ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	C	d	e		
一学期	「私」という「自分」	・随想を読解する。 ・自分を見つめ直すきっかけとする。	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 D 自分というものをみつめられたか。 e 新しい表現をつかいこなせるか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	調律師のるみ子さん	・現代の短編小説を味わう。 ・語り手の視点を意識し、登場人物の心理の変化を読み取る。	○		◎	◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 c 初読感想、読後感想で自分の考えをまとめられたか。 d 小説の主題について考えを深められたか。 e 語彙・慣用句の使い方を理解する。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	新しい地球観	・論理的な文章を読解する。 ・テーマを自分にひきつけて考える。	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 d 具体例と抽象的な記述との関係を理解できたか。 e 評論特有の語句を理解できたか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	ヒトはなぜヒトになったか	・論理的な文章を読解する。 ・書かれている内容を自分に引き付けて読む。	○		◎	◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 c 進化というものを考察できたか。 d テーマを自分の体験に引き付けて考えられたか。 e:評論特有の語彙を理解する。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	コミュニケーションの文化	・論理的な文章を読解する。 ・具体例と抽象的な記述との関係を理解する。	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 D コミュニケーションの重要性が理解できたか。 e 語彙を増やし、使いこなせるようになったか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	名所絵はがきの東西	・論理的な文章を読解する。 ・	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 d 絵はがきの特徴を考える。 E 絵はがきの東西による違いを知る。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
二学期	鼻	・まとまった分量の小説を読解する。 ・作品の背景を理解しながら、読解する。	○	◎	◎		○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 B 古典の翻案小説を朗読し味わう。 c 初読感想、読後感想で自分の考えをまとめられたか。 e 作品の主題となっている主人公の心理を理解する。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出

	詩を味わう	・近代現代の詩の鑑賞の仕方を習得する。	○		◎		○	a 現代詩を味わう。 C 詩を味わい、実作を試みたか。 e 語彙を増やし、新しい表現を学び、言葉に対する感覚を磨くことができたか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	情けは人の…	・随想的な文章を読解する。 ・「情けは人のためならず」という慣用句について考える。	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 d「情けは人のためならず」をの考察を例にしながら述べられた作者の主張を考えられたか。 e 新出語句を自分のものにして、つかいこなせたか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	「マジ？」	・随想的な評論を読解する。 ・「マジ」という語感について考える。	○			◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 D 言葉の現状と筆者の問題意識を理解することができたか。 e 語彙を増やし、新しい表現を使いこなせたか。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
	ナイン	・すぐれた短編小説を鑑賞する。 ・場面ごとの登場人物の心情の変化を読み取る。	○		◎	◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 c 初読感想、読後感想で自分の考えをまとめられたか。 D 過去から現在へ移っていく中で、時代の変化と人物の変化を考えられたか。 e 慣用句・難解語句について学習する。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出
三学期	こころ	・まとまった分量の小説を読解する。 ・場面ごとの登場人物の真情の変化を読み取る。	○		◎	◎	○	a 予習プリントに積極的に取り組んだか。 c 初読感想、読後感想で自分の考えをまとめられたか。 d 場面ごとの登場人物の心情の変化を読み取れたか。 e 漢字・難解語句を学習する。	・授業観察 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力
c:書く能力　　d：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。